



平成28年度

学校関係者評価委員会  
**(最終報告書)**

鹿児島県立沖永良部高等学校

## 〈 目 次 〉

平成28年度 学校評価の実施について(6月配布分) . . . . .	P 1
職員用 学校評価用紙(1 1月配布分) . . . . .	P 3
職員最終報告 . . . . .	P 4
生徒用 学校評価用紙(1 1月配布分) . . . . .	P 6
生徒最終報告 . . . . .	P 7
保護者用 学校評価用紙(1 1月配布分) . . . . .	P 8
保護者最終報告 . . . . .	P 9
学校評価アンケートのまとめ . . . . .	P 15

# 平成28年度学校評価の実施について

## 1 今年度の実施内容

中間評価（7月）、最終評価（12月）の2回実施する。

### 【全体の流れ：目的】

学校として目指すべき重点目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取り組みの適切さ等を評価することにより、組織的・継続的に学校運営を改善していく。

- 昨年度の学校評価最終報告の反省を踏まえ、今年度の目標に合わせた計画を立てて実行する。
- 7月に中間評価を実施することで現在の進捗状況を把握し、その状況に応じて目標達成に向けての改善策を立て直し実行する。
- 12月に最終評価を実施し、今年度の目標達成状況を把握し、次年度の課題や目標を明確にする。

### 今年度の目標（平成28年度 学校経営の概要から）

- 具体像
  - 学校像：活力と魅力に溢れ、進路志望を実現でき、地域の期待に応え発展する学校
  - 職員像：使命感と情熱に燃え、常に資質向上に努め、意識変革を進める職員
  - 生徒像：自ら教養を高め(好学)、人間形成に努め(道義)、粘り強く目標を達成する(根性)生徒
- 重点的な推進事項
  - ・進路意識を高め、学力向上と資格取得を強化し、より高い進路実現を図る。
  - ・郷土に誇りを持ち、主体的に考え、社会貢献に喜びを感じ、粘り強く努力する生徒育成する。
  - ・小中学校や地域との連携を強化し、積極的に情報を発信し、地域の期待に応える魅力ある学校づくりに努める。

### (1) 評価の領域・評価の方法（7月の中間評価では、保護者アンケートは実施しない。）

- ①教職員による自己評価
  - ・教育目標、校務分掌、学級経営、教科指導、生徒指導、進路指導、保健指導の7分野
  - ・平成25年度検討し、36項目を24項目に厳選
  - ・平成27年度「生徒用 評価アンケート」と対比する11項目を追加
  - ・平成28年度 改善欄（下段）を追加
- ②生徒・保護者による評価アンケート
  - ・保護者用12項目
  - ・生徒用11項目（平成25年度から授業評価は各教科担任が独自のアンケートを行うという形に変更）
  - ・平成27年度生徒用の項目一部変更
  - ・平成28年度保護者用に改善欄（下段）を追加
- ③学校関係者評価委員による評価
  - ・学校関係者評価委員会を年3回（6、11、2月）開催する。学校経営全般、各部、各学年、各教科の目標や努力事項について、「自己評価」の結果を踏まえ、意見交換及び学校への提言を行う。
- ④評価の段階 A～Dの4段階とする。
  - A…良い（満足度80%以上）
  - B…概ね良い（満足度60%以上～80%未満）

C…あまり良くない（満足度 40%以上～60%未満）

D…悪い（40%未満）

**（2）結果報告の方法**（①は中間，最終報告 ②・③・④は最終報告）

①全職員，学校関係者評価委員へ集約したものを文書で報告する。

②県教委へ文書で報告する。

③保護者には次年度のPTA総会で報告する。

④HP等に掲載する。

**2 実施に向けての予定**

学 期	月	実 施 内 容
1 学期	4月上旬	今年度の目標に合わせて，それぞれの部・学年・学級・教科そして個人で方針，方向性を検討する。
	5月～6月	委員会による実施方法・評価項目等の見直し確認 6月の運営委員会と職員会議で審議する。
	7月第1週	中間評価を実施 全職員，生徒にアンケート用紙を配布
	7月15日（金）	①生徒用アンケート用紙の回収 （担任が回収，副担へ提出） ②職員用アンケートの提出 → 調査統計係
	7月29日（金）	① 生徒用アンケートの集計（副担） → データ入力完了 ②職員用アンケートの集計（調査統計係） → データ入力完了
	8月28日（金）	全職員へ中間評価の結果・分析報告
2 学期	9月上旬	中間報告を受けて，それぞれの部・学年・学級・教科そして個人で再度方針，方向性を検討する。
	11月下旬	中間評価の結果と分析を，学校関係者評価委員会へ報告
	12月第1週	最終評価を実施。 全職員・保護者・生徒にアンケート用紙を配布
	12月16日（金）	①生徒用・保護者用アンケート用紙の回収 （担任が回収，副担へ提出） ②職員用アンケートの提出 → 調査統計係
3 学期	12月22日（木）	①生徒・保護者用アンケートの集計（副担） → データ入力完了 ②職員用アンケートの集計（調査統計係） → データ入力完了
	1月下旬	結果の集計，報告 結果報告後の感想・意見・提言の募集
	2月中旬	学校関係者評価委員会，職員への最終報告
	3月	改善へ向けての検討会等（職員会議），県教委への報告
次年度 1 学期	4月 5月	学校評価計画・結果等のHP等への掲載 PTA総会で保護者に説明

## 平成28年度 第2回学校評価（職員用）

下記の事項について自己評価をお願いします。各項目の評価A～Dの欄に1ヶ所○印をお願いします。  
12月14日(水)までに、調査統計係へ提出してください。提出の際は、教務の机の上に封筒を用意しておきますので、職員名票に○印をつけてください。

【評価】 A…良い(満足度80%以上) B…概ね良い(満足度60%以上～80%未満) C…あまりよくない(満足度40%以上～60%未満) D…悪い(40%未満)

分野	番号	評価項目	評価			
			A	B	C	D
教育目標	1	本校の教育目標を念頭に置きながら教育活動を行っている。				
	2	各部・各学年の本年度の努力目標を念頭に置きながら、日々業務の遂行にあたっている。				
	3	各教科の本年度の目標を念頭に置きながら、教科指導を実践している。				
校務分掌	4	校務分掌に係わる書類は、その都度整理し、次年度への引継ができるようにしている。				
	5	業務にあたっては、管理職や他の部署との連絡や調整を図りながら、早めに計画を立てている。				
学級経営	6	正副担任が協力し合い、学習習慣や基本的な生活態度の確立に努めている。				
	7	正副担任が協力し合い、保護者との連携に努めている。				
	8	学級の生徒一人ひとりを大切に、正副担任それぞれの立場で個性を伸ばす指導にあたっている。				
教科指導	9	指導内容、板書、発問等工夫しながら「わかる授業」の実践に努めている。				
	10	適切な課題を与え、宅習時間の確保に努めている。				
	11	生徒の実態を把握して、上位下位ともに学力の向上を図るよう努めている。				
	12	教科における生徒の質問や悩みに対して真摯に答えている。				
生徒指導	13	生徒が校則を守り、基本的な生活態度を身につけるように、あらゆる場面で生活指導に努めている。				
	14	生徒が交通ルールやマナーを守るように注意している。				
	15	生徒が主体的・意欲的に活動できるよう、学級や生徒会、部活動などの指導にあたっている。				
	16	生徒の人権や個性を尊重しながら、生活指導や相談にあたっている。				
	17	正しい男女交際の在り方について指導している。				
進路指導	18	3年間を見通して、計画的に進路指導を行っている。				
	19	生徒の実態や個性を把握して、進路に関する適切な情報を与え、指導助言を行っている。				
	20	生徒の進路実現のために、進学や就職指導を適切に行っている。				
保健指導	21	健康や安全に留意するように適切な保健・安全指導を行っている。				
	22	栄養・睡眠など基本的な生活習慣の指導に努めている。				
	23	生徒・職員が一体となり、校内美化に努めている。				
	24	心身の成長に伴った性教育の指導に努めている。				
生徒アンケートの対比用	番号	評価項目	評価			
			A	B	C	D
	1	生徒を授業に対し、真剣に取り組ませている。				
	2	生徒に授業の内容をよく理解させる工夫をしている。				
	3	生徒の学力に応じた宿題・課題等に取り組ませている。				
	4	生徒が気軽に質問等に來れる環境作りをしている。				
	5	生徒の予習・復習の状況や宅習時間を把握している。				
	6	生徒の体調に留意し、規則正しい生活を心がけている。				
	7	生徒の進路について、学年に応じた進路指導を行っている。				
	8	生徒と共に一生懸命、清掃や校内美化へ取り組み、指導している。				
	9	生徒に服装・頭髪など身なりを整えさせている。				
10	生徒に家庭への配付物が渡るよう指導している。					
11	生徒が積極的に学校行事へ取り組めるよう働きかけている。					

具体的に何か改善してほしいことがありましたら、お書きください。

平成28年度 学校評価(職員) 最終報告

教育ビジョン	知・徳・体の調和がとれ、主体的に考え行動する力を備え、生涯にわたり意欲的に自己実現を目指す心身ともに健康で、創造性と協調性に富む人間の育成
教育目標	日本国憲法及び教育基本法の精神及び、県教育行政の基本目標の「あしたをひらく心豊かでたくましい人づくり」に拠って公教育の責務を果たし、校訓「好学」「道義」「根性」が具現され、人間性豊かで夢と希望に満ちた人間の育成に努める。また、郷土を愛し、地域社会に貢献し信頼される心豊かな人材の育成に努める。
本年度の重点的な推進事項	①進路意識を高め、学力向上と資格取得を強化し、より高い進路実現を図る。 ②規範意識を育て、命を尊び命を守る指導の徹底。 ③小中学校・地域との連携を強化し、広報活動を活発にし、募集定員の確保に努める。
昨年度の課題	評価が低かった項目の分析を行い、次年度への対応を図る。

分野	番号	評価項目	評価				回答者数	平均値	総合評価	中間7月	昨年度12月	備考
			A	B	C	D						
教育目標	1	本校の教育目標を念頭に置きながら教育活動を行っている。	12	12	1	0	25	1.4	A	A	A-	
	2	各部・各学年の本年度の努力目標を念頭に置きながら、日々業務の遂行にあたっている。	11	14	0	0	25	1.5	A	A	A-	
	3	各教科の本年度の目標を念頭に置きながら、教科指導を実践している。	12	13	0	0	25	1.5	A	A	A	
校務分掌	4	校務分掌に係わる書類は、その都度整理し、次年度への引継ぎができるようにしている。	14	8	3	0	25	1.4	A	A-	A	
	5	業務にあたっては、管理職や他の部署との連絡や調整を図りながら、早めに計画を立てている。	13	11	1	0	25	1.5	A	A-	A-	
学級経営	6	正副担任が協力し合い、学習習慣や基本的な生活態度の確立に努めている。	14	8	2	0	24	1.5	A	A-	A-	
	7	正副担任が協力し合い、保護者との連携に努めている。	10	13	1	0	24	1.4	A	A-	B+	
	8	学級の生徒一人ひとりを大切に、正副担任それぞれの立場で個性を伸ばす指導にあたっている。	11	13	0	0	24	1.5	A	A	A	
教科指導	9	指導内容、板書、発問等工夫しながら「わかる授業」の実践に努めている。	10	14	0	0	24	1.5	A	A	A	
	10	適切な課題を与え、学習時間の確保に努めている。	7	13	4	0	24	1	B+	A-	A-	
	11	生徒の実態を把握して、上位下位ともに学力の向上を図るよう努めている。	8	15	1	0	24	1.3	A-	A	A-	
	12	教科における生徒の質問や悩みに対して真摯に答えている。	14	10	0	0	24	1.6	A	A	A	
生徒指導	13	生徒が校則を守り、基本的な生活態度を身につけるように、あらゆる場面で生活指導に努めている。	16	9	0	0	25	1.7	A+	A+	A	
	14	生徒が交通ルールやマナーを守るように注意している。	19	6	0	0	25	1.8	A+	A	A	
	15	生徒が主体的・意欲的に活動できるよう、学級や生徒会、部活動などの指導にあたっている。	12	13	0	0	25	1.5	A	A	A	
	16	生徒の人権や個性を尊重しながら、生活指導や相談にあたっている。	14	11	0	0	25	1.6	A	A	A	
	17	正しい男女交際の在り方について指導している。	8	13	4	0	25	1	B+	A-	A-	
進路指導	18	3年間を見通して、計画的に進路指導を行っている。	8	16	1	0	25	1.3	A-	A-	A	
	19	生徒の実態や個性を把握して、進路に関する適切な情報を与え、指導助言を行っている。	7	16	2	0	25	1.2	A-	A-	A-	
	20	生徒の進路実現のために、進学や就職指導を適切に行っている。	9	14	1	0	24	1.3	A-	A-	A	
保健指導	21	健康や安全に留意するように適切な保健・安全指導を行っている。	13	11	1	0	25	1.5	A	A	A	
	22	栄養・睡眠など基本的な生活習慣の指導に努めている。	11	14	0	0	25	1.5	A	A	A-	
	23	生徒・職員が一体となり、校内美化に努めている。	8	14	3	0	25	1.1	A-	A-	B+	
	24	心身の成長に伴った性教育の指導に努めている。	6	13	6	0	25	0.8	B+	A-	A	

評価基準	
A+	2
A	1.6
A-	1.3
B+	1
B	0.6
B-	0.3
C+	0
C	-0.3
C-	-0.6
D+	-1
D	-1.3
D-	-1.6

	番号	評価項目	評価				回答者数	平均値	総合評価	中間7月	昨年度12月	備考
			A	B	C	D						
生徒アンケート対比用	1	生徒を授業に対し、真剣に取り組ませている。	10	12	1	0	23	1.4	A	A+	A	
	2	生徒に授業の内容をよく理解させる工夫をしている。	10	13	0	0	23	1.5	A	A	A	
	3	生徒の学力に応じた宿題・課題等に取り組ませている。	6	13	3	0	22	1	B+	B+	A	
	4	生徒が気軽に質問等に来れる環境作りをしている。	10	12	1	0	23	1.4	A	A	A-	
	5	生徒の予習・復習の状況や学習時間を把握している。	5	13	5	0	23	0.8	B+	B	B+	
	6	生徒の体調に留意し、規則正しい生活を心がかせている。	11	11	1	0	23	1.4	A	A	A-	
	7	生徒の進路について、学年に応じた進路指導を行っている。	8	15	0	0	23	1.4	A	A	A-	
	8	生徒と共に一生懸命、清掃や校内美化へ取り組み、指導している。	11	12	0	0	23	1.5	A	A	A	
	9	生徒に服装・頭髪など身なりを整えさせている。	13	10	0	0	23	1.6	A	A+	A	
	10	生徒に家庭への配付物が渡るよう指導している。	9	11	3	0	23	1.2	A-	A	B+	
	11	生徒が積極的に学校行事へ取り組めるよう働きかけている。	12	10	1	0	23	1.5	A	A	A	

## 平成28年度 学校評価(最終)について(職員自己評価)

- \* 評価 A…良い(満足度80%以上)  
 B…概ね良い(満足度60%以上～80%未満)  
 C…あまりよくない(満足度40%以上～60%未満)  
 D…悪い(40%未満)

分野	番号	評価項目	評価				回答者数	百分率(%)			
			A	B	C	D		A	B	C	D
教育目標	1	本校の教育目標を念頭に置きながら教育活動を行っている。	12	12	1	0	25	48.0	48.0	4.0	0.0
	2	各部・各学年の本年度の努力目標を念頭に置きながら、日々業務の遂行にあたっている。	11	14	0	0	25	44.0	56.0	0.0	0.0
	3	各教科の本年度の目標を念頭に置きながら、教科指導を実践している。	12	13	0	0	25	48.0	52.0	0.0	0.0
校務分掌	4	各部の本年度の努力目標を念頭に置きながら、日々業務の遂行にあたっている。	14	8	3	0	25	56.0	32.0	12.0	0.0
	5	各学年の本年度の目標を念頭に置きながら、教育活動を実践している。	13	11	1	0	25	52.0	44.0	4.0	0.0
校務分掌	6	正副担任が協力し合い、学習習慣や基本的な生活態度の確立に努めている。	14	8	2	0	24	58.3	33.3	8.3	0.0
	7	正副担任が協力し合い、保護者との連携に努めている。	10	13	1	0	24	41.7	54.2	4.2	0.0
	8	学級の生徒一人ひとりを大切に、正副担任それぞれの立場で個性を伸ばす指導にあたっている。	11	13	0	0	24	45.8	54.2	0.0	0.0
学級経営	9	指導内容、板書、発問等工夫しながら「わかる授業」の実践に努めている。	10	14	0	0	24	41.7	58.3	0.0	0.0
	10	適切な課題を与え、学習時間の確保に努めている。	7	13	4	0	24	29.2	54.2	16.7	0.0
	11	生徒の実態を把握して、上位下位ともに学力の向上を図るよう努めている。	8	15	1	0	24	33.3	62.5	4.2	0.0
	12	教科における生徒の質問や悩みに対して真摯に応えている。	14	10	0	0	24	58.3	41.7	0.0	0.0
生徒指導	13	生徒が校則を守り、基本的な生活態度を身につけるように、あらゆる場面で生活指導に努めている。	16	9	0	0	25	64.0	36.0	0.0	0.0
	14	生徒が交通ルールやマナーを守るように注意している。	19	6	0	0	25	76.0	24.0	0.0	0.0
	15	生徒が主体的・意欲的に活動できるよう、学級や生徒会、部活動などの指導にあたっている。	12	13	0	0	25	48.0	52.0	0.0	0.0
	16	生徒の人権や個性を尊重しながら、生活指導や相談にあたっている。	14	11	0	0	25	56.0	44.0	0.0	0.0
	17	正しい男女交際の在り方について指導している。	8	13	4	0	25	32.0	52.0	16.0	0.0
進路指導	18	3年間を見通して、計画的に進路指導を行っている。	8	16	1	0	25	32.0	64.0	4.0	0.0
	19	生徒の実態や個性を把握して、進路に関する適切な情報を与え、指導助言を行っている。	7	16	2	0	25	28.0	64.0	8.0	0.0
	20	生徒の進路実現のために、進学や就職指導を適切に行っている。	9	14	1	0	24	37.5	58.3	4.2	0.0
保健指導	21	健康や安全に留意するように適切な保健・安全指導に努めている。	13	11	1	0	25	52.0	44.0	4.0	0.0
	22	栄養・睡眠など基本的な生活習慣の指導に努めている。	11	14	0	0	25	44.0	56.0	0.0	0.0
	23	生徒・職員が一体となり、校内美化に努めている。	8	14	3	0	25	32.0	56.0	12.0	0.0
	24	心身の成長に伴った性教育の指導に努めている。	16	9	0	0	25	64.0	36.0	0.0	0.0

	番号	評価項目	評価				回答者数	百分率(%)			
			A	B	C	D		A	B	C	D
生徒アンケート対比用	1	生徒に授業に対し、真剣に取り組ませている。	10	12	1	0	23	43.5	52.2	4.3	0.0
	2	生徒に授業の内容をよく理解させる工夫をしている。	10	13	0	0	23	43.5	56.5	0.0	0.0
	3	生徒の学力に応じた宿題・課題等に取り組ませている。	6	13	3	0	22	27.3	59.1	13.6	0.0
	4	生徒が気軽に質問等に来れる環境作りをしている。	10	12	1	0	23	43.5	52.2	4.3	0.0
	5	生徒の予習・復習の状況や学習時間を把握している。	5	13	5	0	23	21.7	56.5	21.7	0.0
	6	生徒の体調に留意し、規則正しい生活を心がけさせている。	11	11	1	0	23	47.8	47.8	4.3	0.0
	7	生徒の進路について、学年に応じた進路指導を行っている。	8	15	0	0	23	34.8	65.2	0.0	0.0
	8	生徒と共に一生懸命、清掃や校内美化へ取り組み、指導している。	11	12	0	0	23	47.8	52.2	0.0	0.0
	9	生徒に服装・頭髪など身なりを整えさせている。	13	10	0	0	23	56.5	43.5	0.0	0.0
	10	生徒に家庭への配付物が渡るよう指導している。	9	11	3	0	23	39.1	47.8	13.0	0.0
	11	生徒が積極的に学校行事へ取り組めるよう働きかけている。	12	10	1	0	23	52.2	43.5	4.3	0.0

## 平成28年度 第1回学校評価のアンケート調査（生徒用）

### 【自己評価】

今の学校生活や学習状況などを点検することで、自分を見つめ直す機会となります。そして、今後の学校生活や学習に生かすことができます。その参考資料にしますので、自分自身の取り組みについて評価をしてください。

（ 男 ・ 女 ）

### 【評価】

- A…良い(満足度80%以上)
- B…概ね良い(満足度60%以上～80%未満)
- C…あまり良くない(満足度40%以上～60%未満)
- D…悪い(40%未満)

	番号	評 価 項 目	評 価			
			A	B	C	D
自己評価	1	授業に対し真剣に取り組むことができる。				
	2	授業の内容をよく理解できる。				
	3	家庭で宿題や課題をきちんとやっている。				
	4	授業で分からないことについて質問する。				
	5	予習・復習もしっかりやり、宅習時間を十分確保している。				
	6	健康に留意し、規則正しい生活を心がけている。				
	7	将来の進路(仕事、生活)について、しっかり考えている。				
	8	清掃には一生懸命取り組み、校内の美化に努めている。				
	9	服装(シャツ・靴下)、髪など身なりをきちんと整えている。				
	10	家庭への配付物等は、保護者に確実に渡している。				
	11	体育祭や文化祭など学校行事に積極的に取り組んでいる。				



平成28年度 沖永良部高等学校 学校評価（生徒自己評価） 最終報告

昨年度の課題	評価が低かった項目の分析を行い、次年度への対応を図る。
--------	-----------------------------

	番号	評価項目	評価				回答者数	平均値	総合評価	昨年度評価
			A	B	C	D				
自己評価	1	授業に対し真剣に取り組むことができる。	80	150	33	4	267	1.0	A-	A-
	2	授業の内容をよく理解できる。	40	164	56	7	267	0.7	B+	B+
	3	家庭で宿題や課題をきちんとやっている。	85	105	58	19	267	0.7	B+	B
	4	授業で分からないことについて質問する。	39	102	89	37	267	0.1	B-	C+
	5	予習・復習もしっかりやり、宅習時間を十分確保している。	22	85	111	49	267	-0.3	C+	C
	6	健康に留意し、規則正しい生活を心がけている。	133	88	35	11	267	1.1	A-	B+
	7	将来の進路(仕事・生活)について、しっかり考えている。	124	83	47	13	267	1.0	B+	B+
	8	清掃には一生懸命取り組み、校内の美化に努めている。	140	108	19	0	267	1.4	A	A-
	9	服装(シャツ・靴下)、髪など身なりをきちんと整えている。	168	83	16	0	267	1.5	A	A
	10	家庭への配付物等は、保護者に確実に渡している。	122	110	29	6	267	1.2	A-	B+
	11	体育祭や文化祭など学校行事に積極的に取り組んでいる。	158	92	15	2	267	1.5	A	A
備考	<p>【項目4について】                      評価C,もしくはDと解答した生徒の割合→47.2%(C:33.3%, D:13.9%)。                      ※1学年:60.9%(C:45.7%, D:15.2%) 2学年:53.7%(C:35.4%, D:18.3%) 3学年:28.0%(C:19.4%, D:8.6%)                      普通科:46.3%(C:34.1%, D:12.2%) 商業科:48.5%(C:32.0%, D:16.5%)</p> <p>【項目5について】                      評価C,もしくはDと解答した生徒の割合→60.0%(C:41.6%, D:18.4%)                      ※1学年:77.2%(C:48.9%, D:28.3%) 2学年:73.2%(C:48.8%, D:24.4%) 3学年:31.2%(C:28.0%, D:3.2%)                      普通科:62.8%(C:45.7%, D:17.1%) 商業科:55.4%(C:35.0%, D:20.4%)</p>									

評価基準	
A+	2
A	1.6
A-	1.3
B+	1
B	0.6
B-	0.3
C+	0
C	-0.3
C-	-0.6
D+	-1
D	-1.3
D-	-1.6

保護者各位

鹿兒島県立沖永良部高等学校  
校長 土持 正三

## 平成28年度学校評価のアンケート調査について（お願い）

保護者の皆様には平素から本校の教育活動に対し御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。  
さて、本校では生徒たちの学校生活をより充実させ、学校の活性化を図るために、今年度も本校の教育活動等に関して、保護者の方々に評価していただくことにしました。下記のアンケートの各項目のA～Dの欄に一ヶ所だけ○印を付けて、12月14日（水）までに学級担任へ御提出くださるようお願いいたします。  
なお、結果につきましては来年度のPTA総会及びホームページで公表します。

## 【評価】

- A…良い(満足度80%以上)  
B…概ね良い(満足度60%以上～80%未満)  
C…あまり良くない(満足度40%以上～60%未満)  
D…悪い(40%未満)

番号	評価項目	評価			
		A	B	C	D
1	子どもの学力に応じた授業が行われている。				
2	子どもは授業の内容をよく理解している。				
3	学校から出される課題や宿題は十分だと思う。				
4	子どもが学習活動に対し真剣に取り組んでいる。				
5	子どもの学力が正しく評価されている。				
6	子どもの生活状態や健康状態が十分把握されている。				
7	子どもの個性や能力、適性に応じた進路指導が行われている。				
8	子どもの行動、生活面について適切な生徒指導が行われている。				
9	子どもと教師とのコミュニケーションがきちんととれている。				
10	家庭と学校とのコミュニケーションがきちんととれ、学校からの連絡や配付物が確実に届いている。				
11	保護者の意見に教師が十分耳を傾け、良好な関係ができています。				
12	生徒や地域にとって魅力ある学校行事が行われている。				

具体的に何か改善してほしいことがありましたら、お書きください。

平成28年度 沖永良部高等学校 学校評価（保護者） 最終報告

番号	評価項目	評価(人数内訳)				回答者数	平均値	総合評価	昨年度評価
		A	B	C	D				
1	子どもの学力に応じた授業が行われている。	65	125	27	1	218	1.0	B+	B+
2	子どもは授業の内容をよく理解している。	27	134	52	6	219	0.6	B	B
3	学校から出される課題や宿題は十分だと思う。	67	130	19	2	218	1.1	B+	B+
4	子どもが学習内容に対し真剣に取り組んでいる。	52	113	48	6	219	0.7	B	B
5	子どもの学力が正しく評価されている。	83	123	13	0	219	1.3	A-	A-
6	子どもの生活状態や健康状態が十分把握されている。	79	119	20	1	219	1.2	B+	B+
7	子どもの個性や能力, 適性に応じた進路指導が行われている。	82	113	23	0	218	1.2	B+	B+
8	子どもの行動, 生活面について適切な生徒指導が行われている。	90	117	10	2	219	1.3	A-	B+
9	子どもと教師とのコミュニケーションがきちんととれている。	88	110	16	4	218	1.2	B+	B+
10	家庭と学校とのコミュニケーションがきちんととれ, 学校からの連絡や配布物が確実に届いている。	75	108	29	7	219	1.0	B+	B
11	保護者の意見に教師が十分耳を傾け, 良好な関係ができています。	89	112	15	3	219	1.2	B+	B+
12	生徒や地域にとって魅力ある学校行事が行われている。	79	119	20	1	219	1.2	B+	B+

評価基準	
A+	2
A	1.6
A-	1.3
B+	1
B	0.6
B-	0.3
C+	0
C	-0.3
C-	-0.6
D+	-1
D	-1.3
D-	-1.6

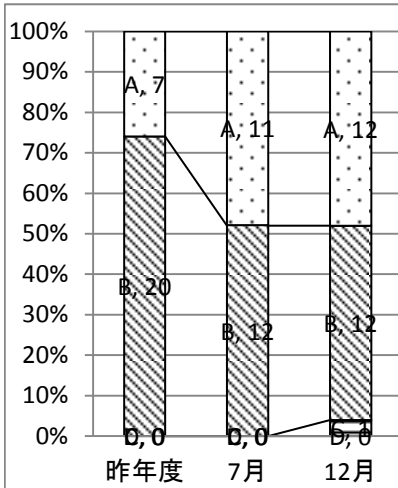
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回答者数は昨年並み。</li> <li>・総合評価についても, 昨年とほとんど変わらないが, 上昇した項目が2つあった。(8と10)</li> <li>・昨年に比べ, Dの評価は減少した。</li> </ul>
----	---

# 平成28年度 学校評価 職員自己評価結果(昨年度・今年度中間との比較)

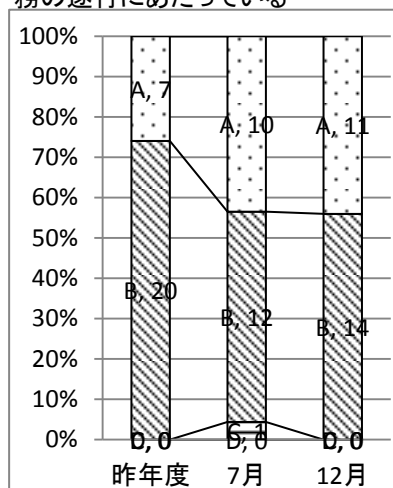
A: 良い B: 概ね良い C: あまり良くない D: 悪い

No.1

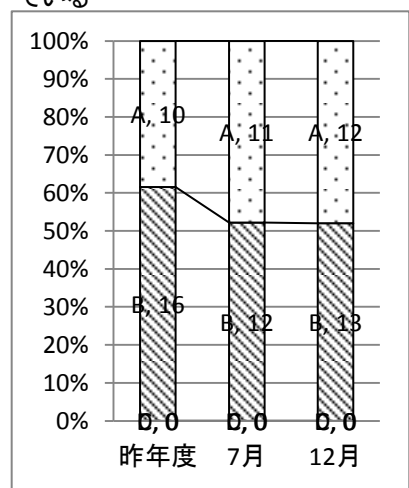
1. 本校の教育目標を念頭に置きながら教育活動を行っている



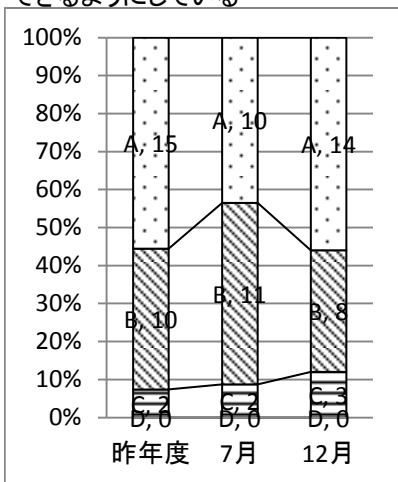
2. 各部・各学年の本年度の努力目標を念頭に置きながら、日々業務の遂行にあっている



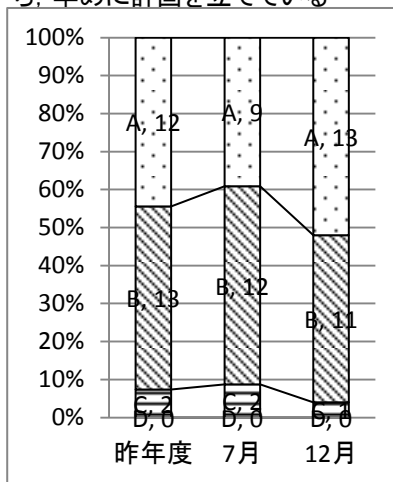
3. 各教科の本年度の目標を念頭に置きながら、教科指導を実践している



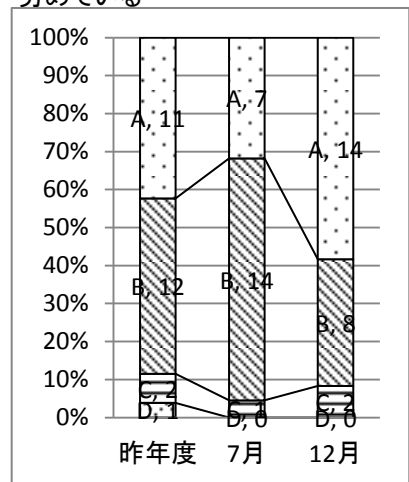
4. 校務分掌に係わる書類は、その都度整理し、次年度への引継ができるようにしている



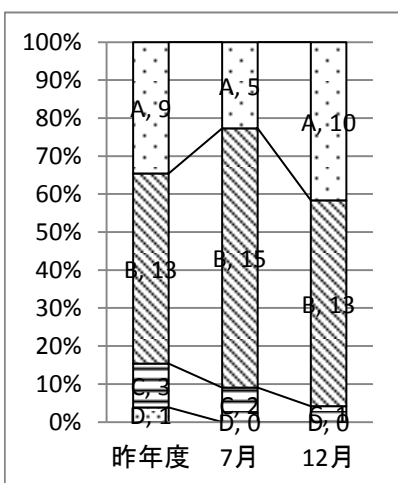
5. 業務にあたっては、管理職や他の部署との連絡や調整を図りながら、早めに計画を立てている



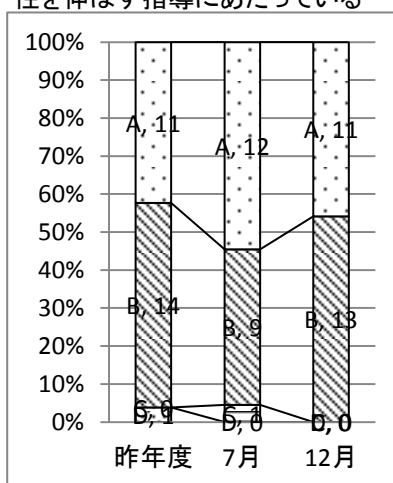
6. 正副担任が協力し合い、学習習慣や基本的な生活態度の確立に努めている



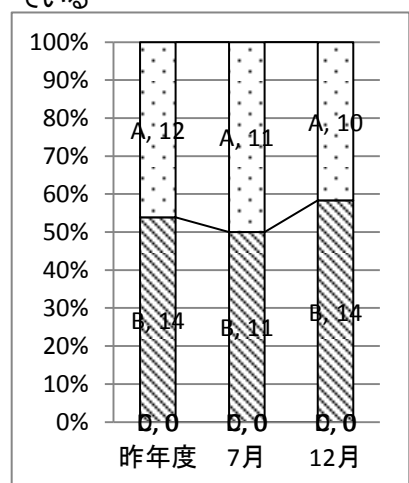
7. 正副担任が協力し合い、保護者との連携に努めている



8. 学級の生徒一人ひとりを大切に、正副担任それぞれの立場で個性を伸ばす指導にあっている



9. 指導内容、板書、発問等工夫しながら「わかる授業」の実践に努めている

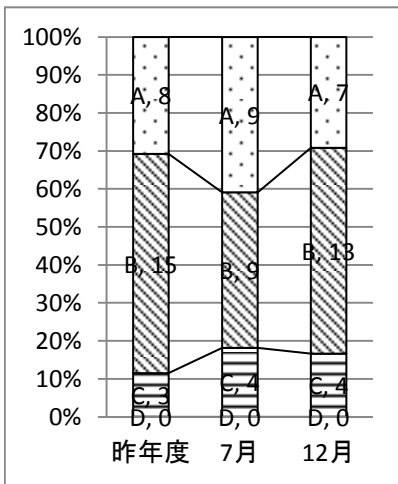


# 平成28年度 学校評価 職員自己評価結果(昨年度・今年度中間との比較)

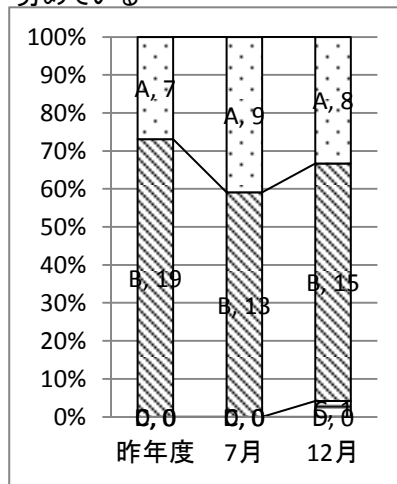
A: 良い B: 概ね良い C: あまり良くない D: 悪い

No.2

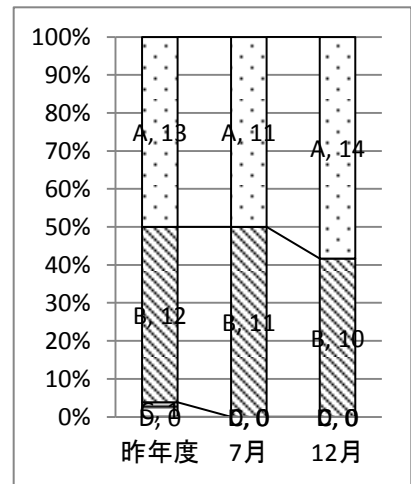
10. 適切な課題を与え、在宅時間の確保に努めている



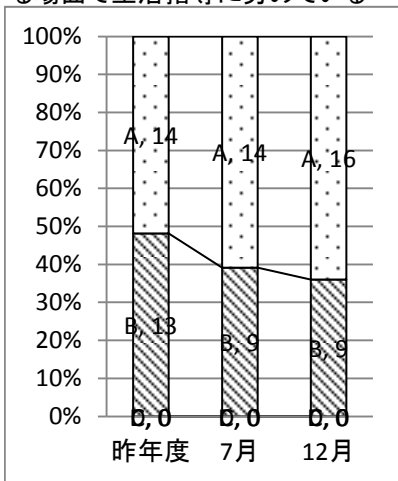
11. 生徒の実態を把握して、上位下位ともに学力の向上を図るよう努めている



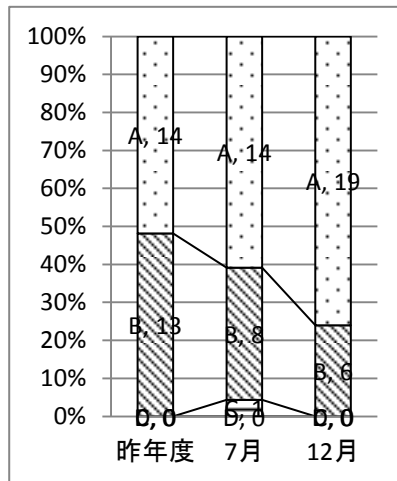
12. 教科における生徒の質問や悩みに対して真摯に応えている



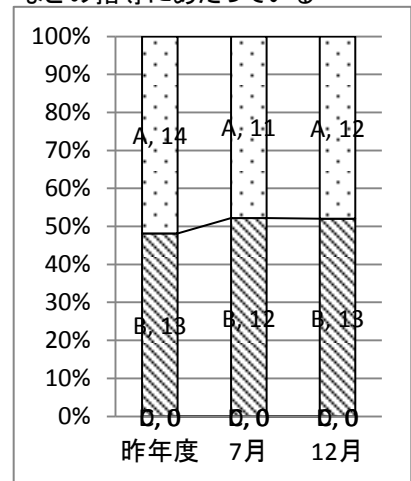
13. 生徒が校則を守り、基本的な生活態度を身につけるように、あらゆる場面で生活指導に努めている



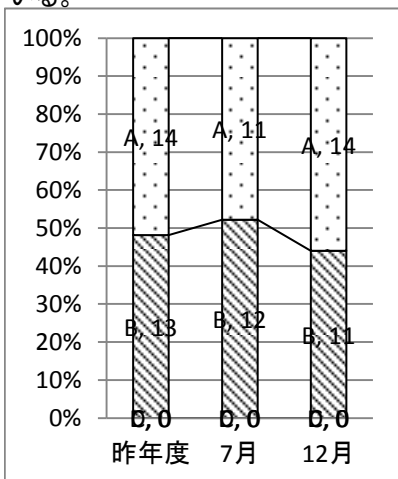
14. 生徒が交通ルールやマナーを守るように注意している



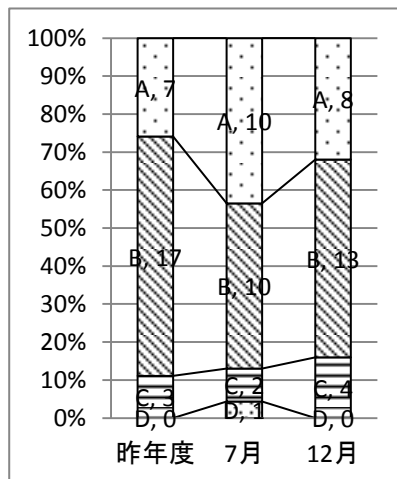
15. 生徒が主体的・意欲的に活動できるよう、学級や生徒会、部活動などの指導にあたっている



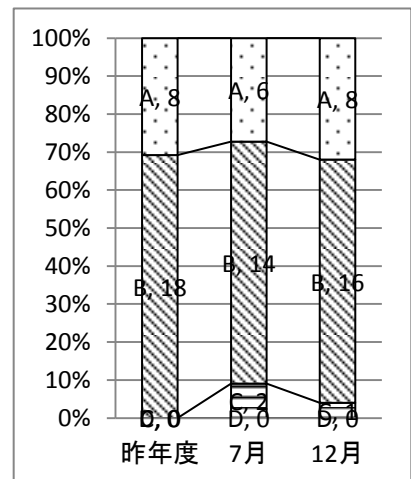
16. 生徒の人権や個性を尊重しながら、生活指導や相談にあたっている。



17. 正しい男女交際の在り方について指導している



18. 3年間を見通して、計画的に進路指導を行っている

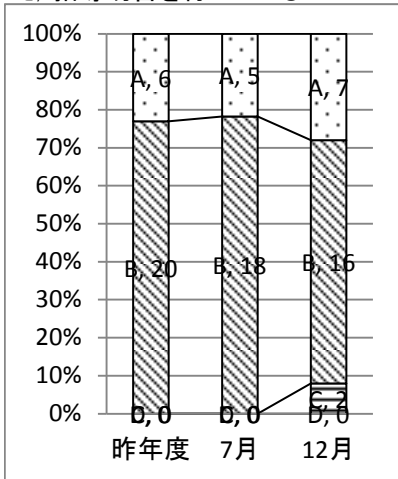


# 平成28年度 学校評価 職員自己評価結果(昨年度・今年度中間との比較)

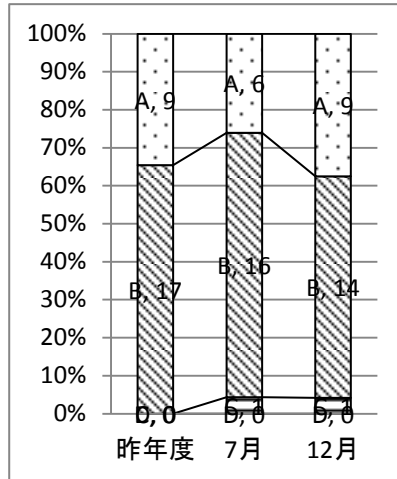
A:良い B:概ね良い C:あまり良くない D:悪い

No.3

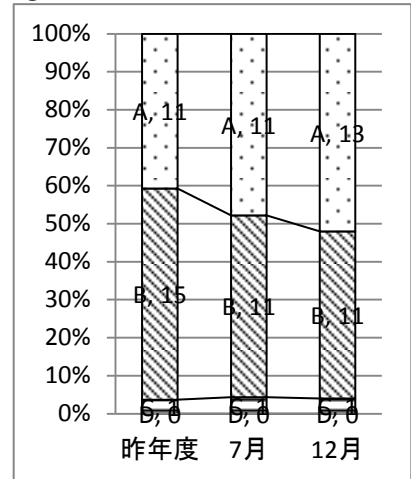
19. 生徒の実態や個性を把握して、進路に関する適切な情報を与え、指導助言を行っている



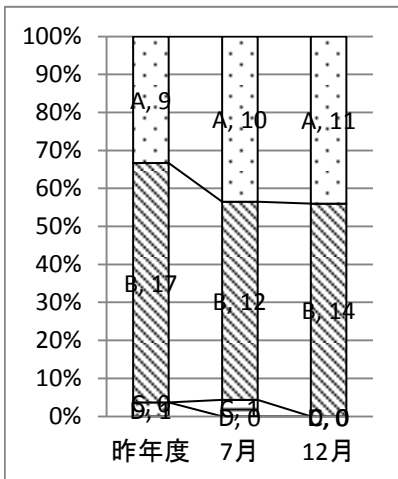
20. 生徒の進路実現のために、進学や就職指導を適切に行っている



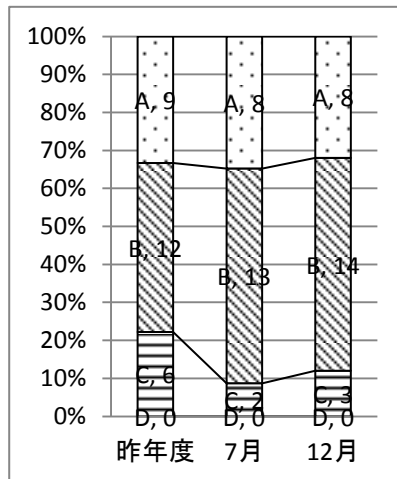
21. 健康や安全に留意するように適切な保健・安全指導を行っている



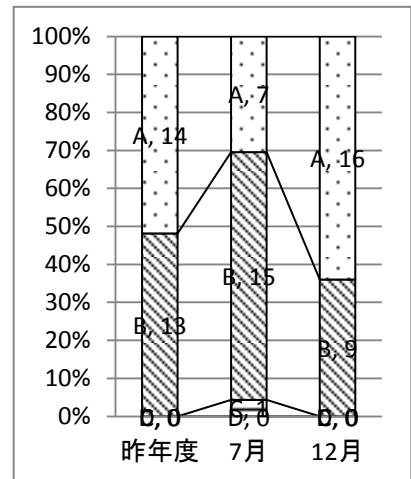
22. 栄養・睡眠など基本的な生活習慣の指導に努めている



23. 生徒・職員が一体となり、校内美化に努めている



24. 心身の成長に伴った性教育の指導に努めている

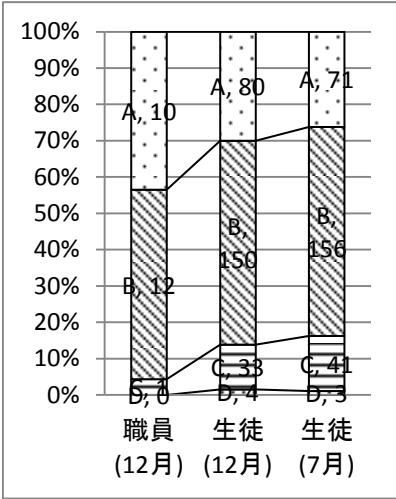


# 平成28年度 学校評価アンケートの結果(職員と生徒の比較)

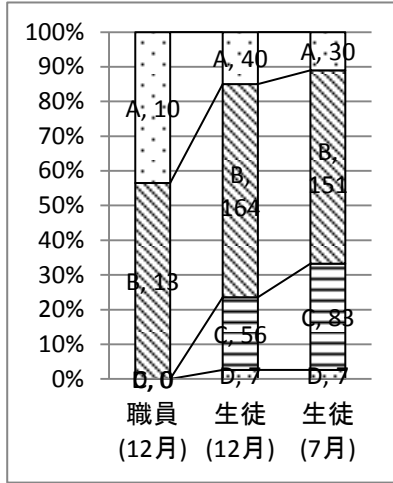
A:良い B:概ね良い C:あまり良くない D:悪い

No.1

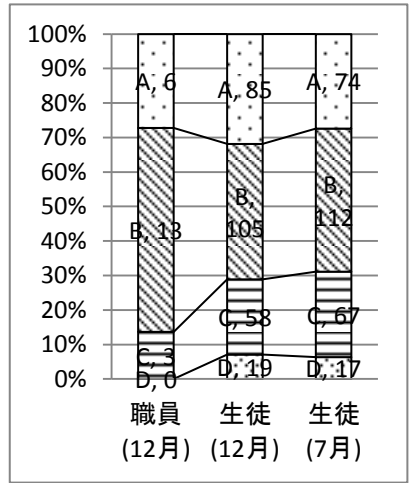
1. 生徒を授業に対し、真剣に取り組ませている。



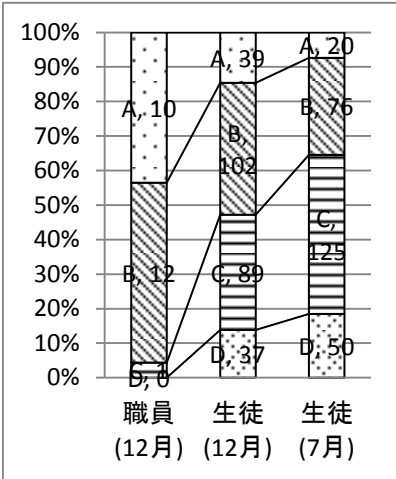
2. 生徒に授業の内容をよく理解させる工夫をしている。



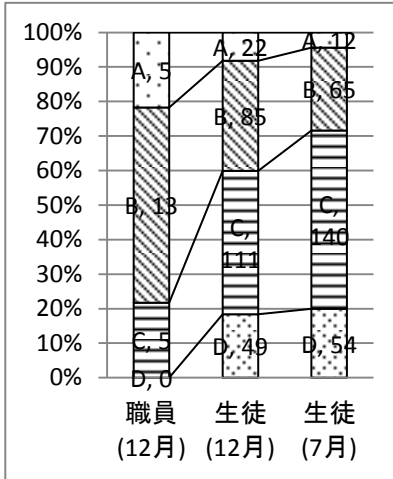
3. 生徒の学力に応じた宿題・課題等を取り組ませている。



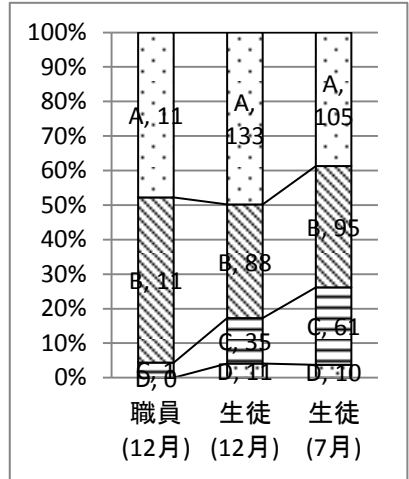
4. 生徒が気軽に質問等に来れる環境作りをしている。



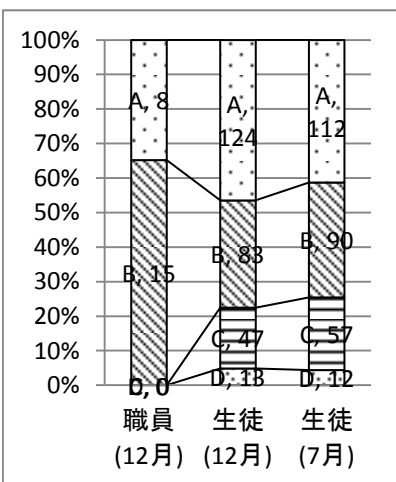
5. 生徒の予習・復習の状況や宅習時間を掌握している。



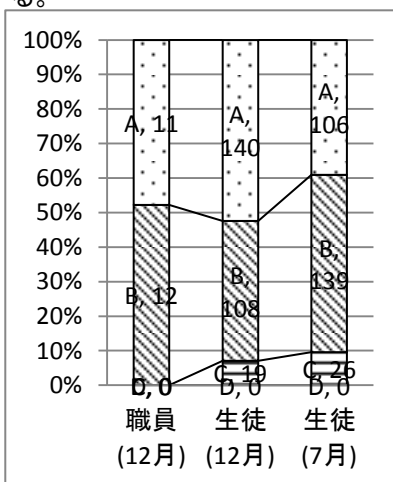
6. 生徒の体調に留意し、規則正しい生活を心がけさせている。



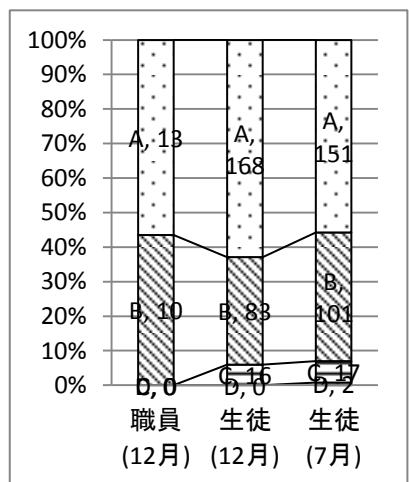
7. 生徒の進路について、学年に応じた進路指導を行っている。



8. 生徒と共に一生懸命、清掃や校内美化へ取り組み、指導している。



9. 生徒に服装・頭髪など身なりを整えさせている。

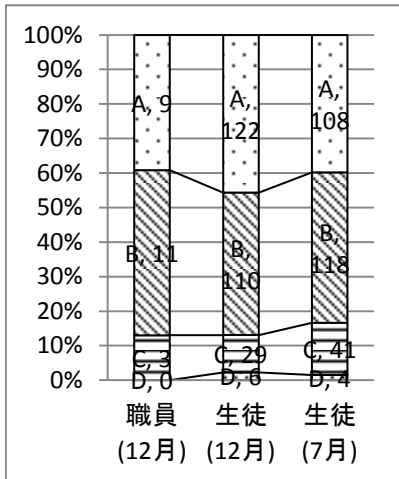


# 平成28年度 学校評価 自己評価アンケートの結果(職員と生徒の比較)

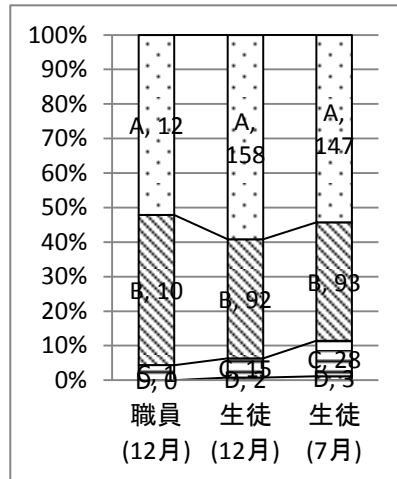
A:良い B:概ね良い C:あまり良くない D:悪い

No.2

10. 生徒に家庭への配付物が渡  
るよう指導している。



11. 生徒が積極的に学校行事へ  
取り組めるよう働きかけている。





## 平成28年度 学校評価アンケートのまとめ

実施日：平成28年11月30日（水）

対象：生徒・保護者・本校職員

### 【アンケート結果の分析】

①昨年度の結果と比較して、職員の自己評価は、3項目（10：課題と宅習時間の確保、17：男女交際の在り方、24：性教育の指導）について評価が下がった。また、2項目（7：保護者との連携、23：校内美化）については評価が向上した。その他の項目については多少の変動はあったが昨年度並みの評価であった。

②昨年度より、生徒の自己評価と対比できるように評価項目を追加したが、職員と生徒との間で、特に評価に差異が現れた項目については、以下の通り。

- ・項目2「授業内容の理解」…職員「A」生徒「B+」
- ・項目4「質問できる環境」…職員「A」生徒「B-」
- ・項目5「予習・復習・宅習」…職員「B+」生徒「C+」
- ・項目7「進路指導」…職員「A」生徒「B+」

対比する評価項目の文章が全く同じではないことについて考慮する必要はあるが、授業や自宅学習における生徒の状況把握、生徒との関わり方や進路指導等に課題があることを示唆する結果となった。

③生徒の自己評価についても、昨年度の結果と比較して向上した項目が多く、評価の下がった項目はなかった。昨年度「C+」評価だった項目4（質問できる環境）については、今年度「B-」へ向上した。授業や放課後等に生徒が自ら質問に来るような雰囲気づくりや学習に対する意識をさらに高めていく必要がある。また、項目5（宅習時間）については多少評価は向上したが、C評価は改善できなかった。昨年度の反省にもあるように項目3「家庭で宿題や課題をきちんとやっている。」が「B+」にも関わらず、C評価であることは、宿題以外のプラスαの学習にまでは至っていないという部分がまだ改善できていないようである。

④保護者の学校評価では、評価項目全体でD評価は減少した。（Dの数：昨年度46、今年度33）総合評価も昨年から向上した項目は2つ（8：生徒指導、10：学校との連携）あった。しかし、全体的にA評価が少ないように感じるので、入学させてよかったと思えるような取り組みや改善を今後も継続していく。

### 【来年度へ向けた課題】

①職員－生徒間の比較項目については、来年度以降も継続し、課題の発見に役立てる。併せて、比較用評価項目の文章については、今後も検討・改善を続け、調査の効果を高めていく必要がある。

②生徒の自己評価の項目5については例年C評価が続いている。改善のために、これらについてもっと掘り下げた調査を実行し、必要な手立てを検討すべきではないか。

③保護者との連携をさらに強化し、本校の教育活動の実態や成果をより積極的に発信していく。